



お知らせ

News



【AP関連】AL関連研究会ワークショップ「『看図アプローチ』による授業づくり」を開催しました

2017年01月06日

12月24日（土）に、福岡女学院大学の鹿内信善先生（北海道教育大学名誉教授）をお招きし、アクティブ・ラーニング関連研究会ワークショップ「『看図アプローチ』による授業づくり」を開催しました。日本語学、文学、美術、英語、理科教育学や看護学などを専門とする学内外の教職員と、日本語教育、国語教員を目指す学生と一緒に学ぶ、活発で楽しい研究会となりました。

鹿内先生が開発された「看図アプローチ」とは、絵や写真などを使ったビジュアルテキストを用いて、1）変換：そこに含まれる要素を言語化すること、2）要素関連付け：写真に写っている、あるいは描かれている諸要素を自身の既有知識と関連付けること、3）外挿：写真や絵にないものを推測することなどの学習行動を引き出すことにより、物事をよく観察する力、想像する力、先を予測する力、仮説を立てる力、新たなものを創造する力を育成するねらいがあり、アクティブ・ラーニング・ツールとして、教科を問わず汎用的に活用できる手法です。

ワークショップでは、実際にビジュアルテキストを用いたグループワークを体験することで、看図アプローチが、動機づけ、創造的思考力、表現力、読解力、協同して取り組む力といった多くの力の育成に効果があることや、応用可能性を実感することができました。

終了後は、アクティブ・ラーニングとは「学習者の脳にスイッチを入れること」「脳を気持ちよく回転させること」だと納得した、協同に見合う課題作りの重要性を改めて実感した、自分自身がアクティブな教員を目指したい、今後の授業に取り入れるたくさんのヒントをいただいた、などの感想が寄せられました。

これからも、このようなワークショップを継続していきます。



もどる

比治山大学・比治山大学短期大学部 〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1

[サイトポリシー](#) | [個人情報保護方針](#) | [サイトマップ](#)

Copyright © HIJYAMA UNIVERSITY. All rights reserved.